

宮城県感染症発生動向調査情報(第25週)

宮城県【平成27年06月25日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.6.15 ~ 6.21 ・ 第25週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第22週	第23週	第24週	第25週
水痘	3 0.60	1 0.10	2 0.40		1 0.33	1 0.20	3 1.50	24 0.89	35 0.59	942	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎		1 0.10	2 0.40					5 0.19	8 0.14	193	→	→	→	
百日咳								1 0.04	1 0.02	1	→	→	→	
感染性胃腸炎	56 11.20	49 4.90	27 5.40	12 6.00	40 13.33	25 5.00	5 2.50	239 8.85	453 7.68	12,490	◎→	◎→	◎→	○
手足口病	5 1.00	16 1.60	12 2.40			1 0.20		26 2.07	90 1.53	655	○→	◎→	◎→	○
伝染性紅斑		8 0.80	7 1.40		3 1.00	5 1.00	5 2.50	19 0.70	47 0.80	1,234	○→	○→	○→	○
突発性発しん		2 0.20	6 1.20		2 0.67	5 1.00	1 0.50	20 0.74	36 0.61	857	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ		12 1.20				1 0.20	1 0.50	9 0.33	23 0.39	60	→	→	→	
インフルエンザ	7 0.88							7 0.07	19,596		◎→	レ→	○→	レ
咽頭結膜熱	4 0.80	9 0.90	3 0.60	9 4.50		37 7.40		16 0.59	78 1.32	645	◎→	◎→	◎→	◎
流行性角結膜炎		1 0.33						4 0.67	5 0.42	77	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39 7.80	20 2.00	10 2.00	5 2.50	1 0.33	35 7.00		104 3.85	214 3.63	3,983	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				1 1.00			5 5.00	2 0.40	8 0.67	177	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)								1 0.20	1 0.08	1	→	→	→	
RSウイルス感染症											→	→	→	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	2	2	2	1	3	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
不明発疹症		1						3	宮城県保健環境センターのホームページ http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									76					

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性2名(第24週)
 - 大崎管内 男性1名
 - 石巻管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
 - 仙台管内 男性1名(第24週)
 - 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 男性1名
 - 梅毒
 - 仙台管内 女性1名

今週の感染症のコメント

- 【伝染性紅斑】
気仙沼管内で警報継続中。
- 【咽頭結膜熱】
栗原、石巻管内で警報継続中。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】
仙南管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第25週採取分 アストロウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定		中 間 報 告	
	第22週採取分 (5.25～5.31)	第23週採取分 (6.1～6.7)	第24週採取分 (6.8～6.14)	第25週採取分
RSウイルス	2件	0件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	1件	1件
ライノウイルス	2件	0件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	2件	10件	10件	10件
ヒトメタニューモウイルス	0件	1件	1件	1件

※ パラインフルエンザウイルス3型は、毎年春から初夏にかけて流行し、風邪様症状を示すウイルスです。仙台医療センターウイルスセンターでは、パラインフルエンザウイルス3型の分離の多い状態が継続しています。

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成27年3月29日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	119(2)	82(2)
全国	17,079(221)	7,733(100)

()内は平成26年12月29日から平成27年3月29日までの報告数である。

API-Net(エイズ情報予防ネット)より

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2015年 第23週	41.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	24
第24週	0.0	41.9	41.9	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	3.2	31
第25週	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第23週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は8例と前週と比較して減少した。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では新潟県(2.10)、北海道(1.97)、広島県(1.50)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(6.37)、鹿児島県(5.13)、山口県(4.53)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(14.03)、山形県(12.93)、鹿児島県(10.93)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では徳島県(10.48)、香川県(5.46)、熊本県(4.84)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山梨県(1.79)、滋賀県(1.44)、埼玉県(1.39)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では高知県(1.38)、宮城県(0.67)、香川県(0.60)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は3週連続で減少した。32都道府県から105例報告があり、年齢別では0歳(10例)、1～4歳(72例)、5～9歳(17例)、10代(2例)、40代(1例)、50代(2例)、70歳以上(1例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

インフルエンザ定点
小児科定点と内科
定点を合わせたも
ので、県全体で95
定点となりました。